



WBGT値を活用した 作業所独自の熱中症対策

- ・現場では高温注意情報の発令等に伴い、1時間ごとに休憩し、水分・塩分を自らが体調にあわせて適度に補給する。
- ・さらに高温注意情報発令時または熱中症嚴重警戒時(WBGT値28度以上)を目安に、特に気温が高い 13時から15時半の間の休憩時間を合計1時間とる。また、水分補給に加え、塩分の補給を確実にするため、朝礼時及び昼の休憩後に塩あめを各作業員に直接手渡して摂取する。